

法律学小辞典〔第6版〕

高橋和之 = 伊藤 眞 = 小早川光郎 =
能見善久 = 山口 厚 編集代表

担当編集から

9年ぶりの改訂版です。研究、立法、判例の動きを丹念に反映しました。

約1万項目のうち、新項目（解説付き）は175あります。その中には、立法により生まれた語（例：配偶者居住権、不同意性交等罪、労働者協同組合）もあれば、重要度の高まりや読者の便宜の見地から取り上げた項目もあります（例：性犯罪、内部統制、買収防衛策）。また、立法により見直された語についてもすぐに削除せず、新しい語や関連項目を見よと表示しています（例：時効の停止、補導処分、無期懲役）。基本的な項目についても、全面的な見直しが行われたものが少なくありません。

旧版までは巻末に「基本法令用語」や総合索引を掲載していましたが、やや目立ちにくい存在でした。そこで、これらに掲載されている語を見よ項目の形で辞典本体に移し、総合索引のほうは廃止しました。これにより、引きたい語がすぐに探せない事態をかなり避けられるようになったかと思えます。

法の言葉の海を自在に泳ぎ、お楽しみいただけたら幸いです。（TS）

Point

*と'で挟んでいる語は、その語が収録項目として解説がなされていることを意味します。

は、行為の類型であるともされる。正犯には、1人で構成要件該当事実を実現する単独正犯と、数人が共同して構成要件該当事実を実現する「共同正犯」(刑 60)がある。構成要件の結果の発生に何らかの条件を与えた者は、全て本来の正犯であるとして、正犯を拡張的に捉え(「拡張的正犯概念」、刑法の共犯(「教唆」犯(刑 61)、^①「幫助」犯(刑 62))規定は処罰の可能性を縮小するものである(刑罰縮小事由である)とする考え方に對し、通説は、正犯を制限的(限縮的)に捉え(制限的[限縮的]正犯概念)、共犯規定は、これがなければ処罰されない範囲にまで処罰を拡張するものである(刑罰拡張事由である)という考え方を基礎とする。正犯と共犯との区別について、正犯意思(自己の犯罪を行う意思)をもって行為をする者が正犯であるとする説、構成要件の行為(「実行行為」)をする者が正犯であるとする説、構成要件に該当する犯罪事実を支配する者が正犯であるとする説等が主張されている。

性犯罪 1 刑法上の性犯罪規定 個人の性的自由を害する罪の総称。刑法上の性犯罪規定は、下記2の平成16年改正前には、2編22章「わいせつ、姦淫(姦)及び重婚の罪」中、176条「強制わいせつ」、177条「強姦(姦)」、178条「準強制わいせつ及び準強姦」、及びこれらの罪の「未遂」処罰規定である179条(以上の罪は、2人以上の者が現場で共同して犯した場合を除き「親告罪」(刑 180))、並びに176条から179条までの罪の「結果的加重犯」規定である181条「強制わいせつ等致死傷」から構成された(なお、

された(なお、未遂処罰規定は180条に移動)。4 令和5年改正(法 66) 177条の罪の対象(性交等)が拡大された。176条及び177条の罪の要件が自由な意思決定が困難な手段的状况を示す文言に修正され、罪名も「不同意わいせつ罪」及び「不同意性交等罪」に改められた(罪名中の強制性交等も不同意性交等に変更、178条は前2条に統合されて削除)。性交同意年齢が13歳から16歳に引き上げられた。16歳未満の者に対する面会要求等罪が新設された(刑 182)(⇒わいせつ目的面会要求等罪)(なお、淫行勧誘罪は183条に移動)。本改正と合わせて、「性的な姿態を撮影する行為等の処罰及び押収物に記録された性的な姿態の影像に係る電磁的記録の消去等に関する法律」が制定された(法 67)(⇒撮影罪)。

正犯なき共犯 ⇒ 惹起(惹)説

青票(青)・白票(白) 国会で「記名投票」によって「表決」を行うときに用いられる青色の木札と白色の木札。各議員の氏名が記入されており、問題を否とする議員は青票を、問題を可とする議員は白票を投票箱に投入する(衆議院 153)。青色票・白色票(参議院 139)ともいう。

政府 1 広義では、立法・行政・司法の三権全てを包括した、国の統治機関全体を指す。近代市民革命が貫徹された諸国では、三権はいずれも、社会・国民が創設したものと観念されるから、総体としての Government 国という観念を生んだ。

2 狭義では、行政府を意味する。この用法は、

THE DICTIONARY OF LAW

第6版

法律学小辞典

KAZUYUKI TAKAHASHI
MAKOTO ITO
MITSUGU KOBAYAKAWA
YOSHISHI NOMI
ATSUSHI YAMAGUCHI

〔編集代表〕

高橋和之
伊藤 眞
小早川光郎
能見善久
山口 厚

定評ある
法律辞典の
最高峰

THE DICTIONARY OF LAW



学習・実務に必要な
概念・用語等を網羅。

収録項目数/約10000
定価/本体5200円+税

2025年1月発売/1508頁/定価5720円(税込)
四六判/上製箱入

詳細を見る



BOOK INFORMATION